

DNA修復時の目印たんぱく質 水素結合利用し見極め 東大など仕組み解明

東京大学の深井周也・
准教授や東京工業大学、
大阪大学などの研究チー
ムは、DNA（デオキシ
リボ核酸）の修復やたん
ぱく質の合成などの際に
目印となるたんぱく質に

ついて、生体が識別する
メカニズムの一部を解明
した。三十一日付の英科
学誌「ネイチャー」電子
版に掲載される。

たんぱく質「ユビキチ
ン」に注目した。不要な
たんぱく質を識別する目
印になることで有名だ
が、中にはDNAの修復
やたんぱく質合成など
の際のみ目印として働く
種類がある。

酵素で安定にした構造
のユビキチンを作り、構
造を詳しく調べた。生体
内には分子を認識するさ
まざまな仕組みがある
が、水素結合などを利用
してユビキチンの一種を
見極めていることがわか
ったという。